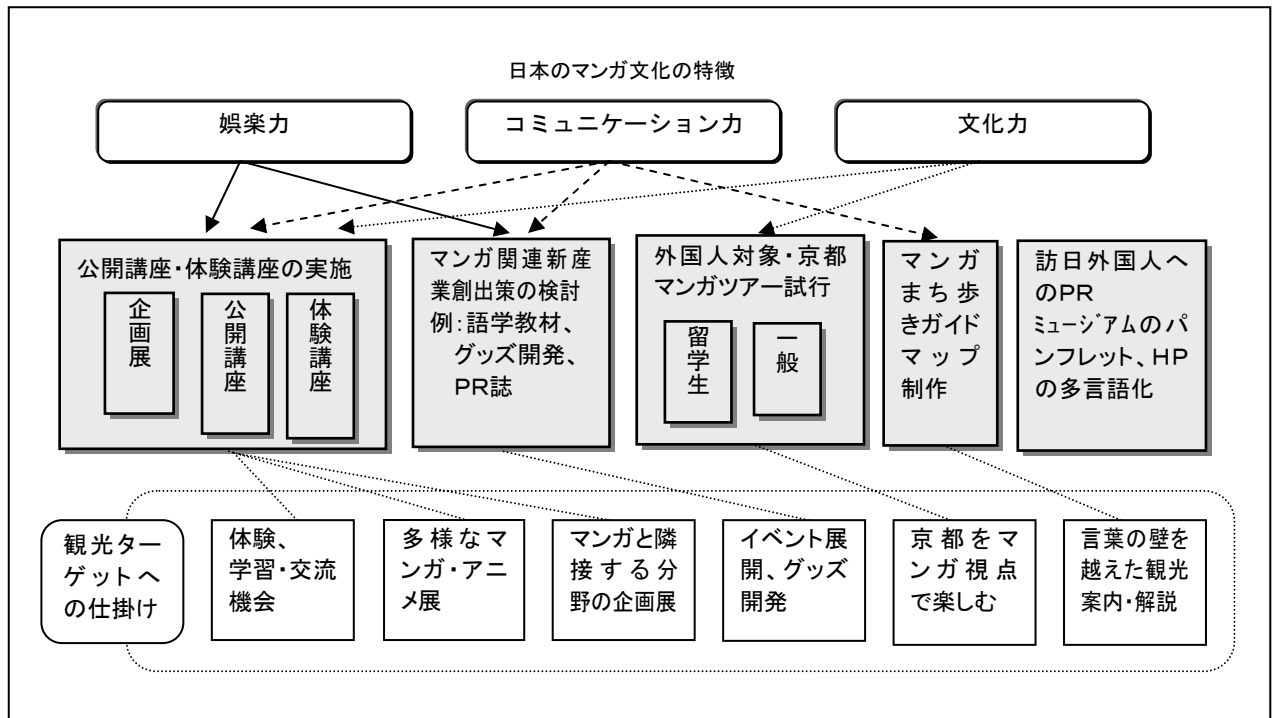


V. マンガを核とした持続可能な地域活性化方策の検討

第Ⅲ章で導いた日本のマンガ文化の特徴と、観光ターゲットへの仕掛けの可能性から、以下の地域活性化方策を設定し、訪日外国人へのPRを含めて調査・検討を行った。



1. 公開講座・体験講座の実施

(1) 公開講座

京都国際マンガミュージアムが行う事業において、開館から平成19年3月までの約4ヶ月間に、講演会、対談、シンポジウム、教室での講座(講演)は延べ12回実施された。

公開講座一覧(開館から平成19年3月まで)

種類	内容	実施日・場所
開館記念フォーラム	①パネルディスカッション 「現代マンガ・アニメのルーツとマンガの未来」 パネリスト：茂山千三郎(大蔵流狂言師) 高畑 勲(アニメーション映画監督) 竹宮 恵子(京都精華大学マンガ学部教授、マンガ家) 寺脇 研(元文化庁文化部長、日本漫画家協会) 夏目房之介(マンガコラムニスト)	平成18年11月24日 (金剛能楽堂)
特別展関連イベント	①対談 「アニメからのメッセージ/アニメへのメッセージ」 講師：富野由悠季(アニメ監督、京都精華大学客員教授) 杉井ギサブロー(アニメ監督、京都精華大学教授)	平成19年2月10日 (京都商工会議所)
	②特別セミナー 「アニメからプロダクトデザインへ」 講師：大河原邦男(デザイナー)	平成19年2月25日 (登録会館)
	③連続フォーラム1 「ガンダムとガンプラブーム」 講師：川村清志(札幌大学助教授)	平成19年3月3日 (京都国際マンガミュージアム)
	④連続フォーラム2 「ガンダム・コミュニティのメディア史」 講師：瓜生吉則(明治学院大学非常勤講師)	平成19年3月10日 (京都国際マンガミュージアム)
	⑤連続フォーラム3 「『GUNDAM~来たるべき未来のために』展からみえるもの」 パネリスト：東谷隆司(「GUNDAM」展キュレーター) 應矢泰紀(京都精華大学特任講師) 菊池 暁(京都大学人文学研究所助手) 村田麻里子(京都精華大学講師)	予定： 平成19年3月18日 (京都国際マンガミュージアム)
	⑥連続フォーラム4 「玩具としてのガンプラ~郷土玩具論の見地から」 講師：香川雅信(兵庫県立歴史博物館学芸員)	予定： 平成19年3月21日 (京都国際マンガミュージアム)
講演会	①講演会1 「マンガと国際交流」 講師：ちばてつや(マンガ家) コーディネーター：呉智英(評論家)	平成19年1月7日 (京都国際マンガミュージアム)

種類	内容	実施日・場所
	②講演会 2 「マンガと歴史観」 講師：安彦良和（マンガ家、神戸芸術工科大学教授） コーディネーター：伊藤剛（武蔵野美術大学非常勤講師）	平成 19 年 2 月 18 日 （京都文化博物館）
	③講演会 3 「産業[プロダクト]としてのマンガ」 講師：さいとう・たかを（マンガ家） コーディネーター：熊田正史（京都精華大学マンガ学部教授）	平成 19 年 3 月 11 日 （京都商工会議所）
シンポジウム	①シンポジウム「マンガと人類学」 第一部「世界のマンガ文化」 パネリスト：吉村和真（京都精華大学助教授） 村上知彦（神戸松蔭女子学院大学専任講師） 都留泰作（文化人類学者、富山大学助教授） マット・ソーン（京都精華大学助教授） 第二部「諸星大二郎の神話世界」 対談者：諸星大二郎（マンガ家） 呉智英（評論家）	平成 18 年 12 月 16 日 （京都国際マンガ ミュージアム）
えむえむ連続講座	①講座 1 「海外アニメを楽しもう」 講師：小野耕世（映画・マンガ評論家） 津堅信之（アニメーション研究家、京都精華大学講師）	平成 18 年 12 月 10 日 （京都国際マンガ ミュージアム）
	②講座 2 「マンガ・カートゥーン・ジャーナリズム」 講師：マーティン・ハネセット（カートゥーニスト、 京都精華大学特任教授）	平成 19 年 1 月 28 日 （京都国際マンガ ミュージアム）
	③講座 3 『『ベルばら』ブームとは何だったのか —1970 年代・ 女性・革命』 講師：藤本由香里（編集者、評論家） 伊藤公雄（京都大学教授） 川村邦光（大阪大学教授）	平成 19 年 2 月 11 日 （京都国際マンガ ミュージアム）
	④講座 4 「マンガが街を変える：おたく趣味と秋葉原の現在」 講師：森川嘉一郎（建築学者）	予定： 平成 19 年 3 月 25 日 （京都国際マンガ ミュージアム）

(2) 体験講座「マンガ家アシスタント体験」

京都国際マンガミュージアムの協力を得て、プロが使う道具でマンガ実作を体験する初心者向けのプログラムを開発した。留学生モニター11人に対して試行し、感想・意見を聞いた。

実施日	平成19年2月13日(火)
留学生モニター	中国4人、台湾2人、韓国3人、欧米2人。
試行方法	<p>○プロ用の道具を使って、マンガ原稿にペンを入れる「マンガ家の実作アシスタント体験講座」を留学生がモニター体験する。</p> <p>○今回のパイロット版は、初心者用で、所要時間45分。</p> <p>○「多忙なマンガ家の仕事を手伝う」という設定で、以下の4種類の実作を体験する。体験終了者には「認定書」が渡される。</p> <p>①ツヤベタを塗る ②ふきだしの形を描く ③流動線を描く ④集中線を描く</p> <p>○企画・指導は、京都国際マンガミュージアムのワークショップ企画担当者による。</p>

ディスカッションで聴取した主な意見を取りまとめると、以下の通りである。

①マンガ実作経験がある留学生(5人)の意見

実作経験がある留学生からは、講座内容について概ね良い評価を得た。また、改善点について、具体的な提案が出された。

○内容について

- ・マンガの面白さを伝えられる講座だ。
- ・ゲーム感覚で出来るのが良い。
- ・マンガ家アシスタントという仕事がわかる。

○今後の改善点について

- ・スクリーントーン貼り体験を取り入れる。
- ・親子で楽しむプログラムを開発する。
- ・体験前の説明時間を増やし、マンガ原稿が出来るまでの過程や、道具の使い方の詳細を教えると、初心者がわかりやすい。
- ・著名なマンガ家の未完成原稿を使用すると臨場感が出る。
- ・初級・中級・上級に分ける

②マンガ実作経験の無い留学生（6人）の意見

実作経験が無い留学生は「絵を描くのは苦手だが、講師に基礎から指導してもらったので楽しく描けた」との意見が多かった。その他の感想・意見は以下の通りである。

- 同じ絵に線を描きこむだけで自分だけのイメージを作り出せるのが楽しい。
- マンガを読んでいるだけでは気づかない視点を発見できた。
- 描くのは難しいと思っていたので達成感があった。
- 45分間の体験時間は、負担のかからない時間でちょうど良い。
- 今後の改善点について
 - ・時間が短かった。2時間くらいかけて人物の表情にも挑戦したい。
 - ・認定書に受講者名と日付を記入してもらえれば嬉しい。記念のお土産にもなる。

「マンガ家アシスタント体験」講座の試行



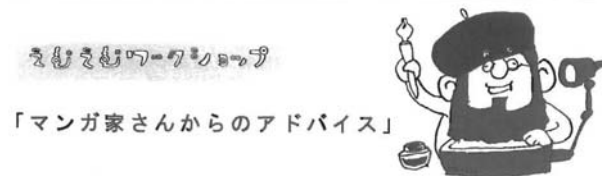
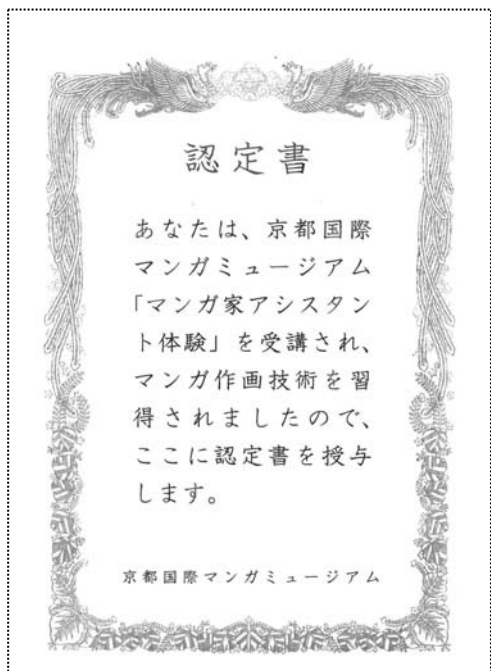
「マンガ家アシスタント体験」講座 導入部

京都国際マンガミュージアム ワークショップ
「マンガ家アシスタント体験」 体験時間 45分



© KYOTO INTERNATIONAL MANGA MUSEUM

「マンガ家アシスタント体験」講座 認定書



© KYOTO INTERNATIONAL MANGA MUSEUM

※京都国際マンガミュージアムの許可無く転載・引用禁止

講座で使用する原画

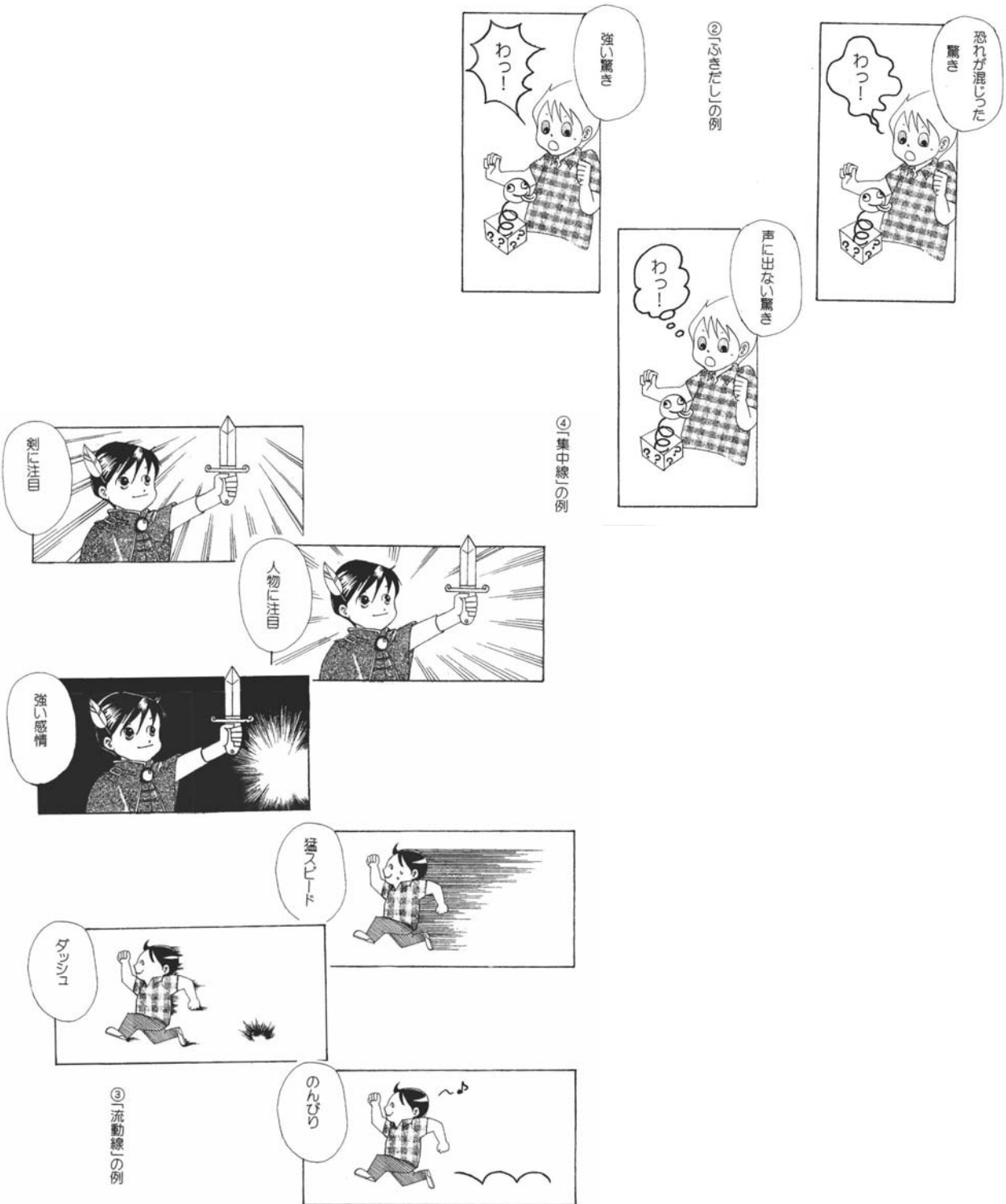
(参加者は、この用紙にペンを入れて実作体験する)



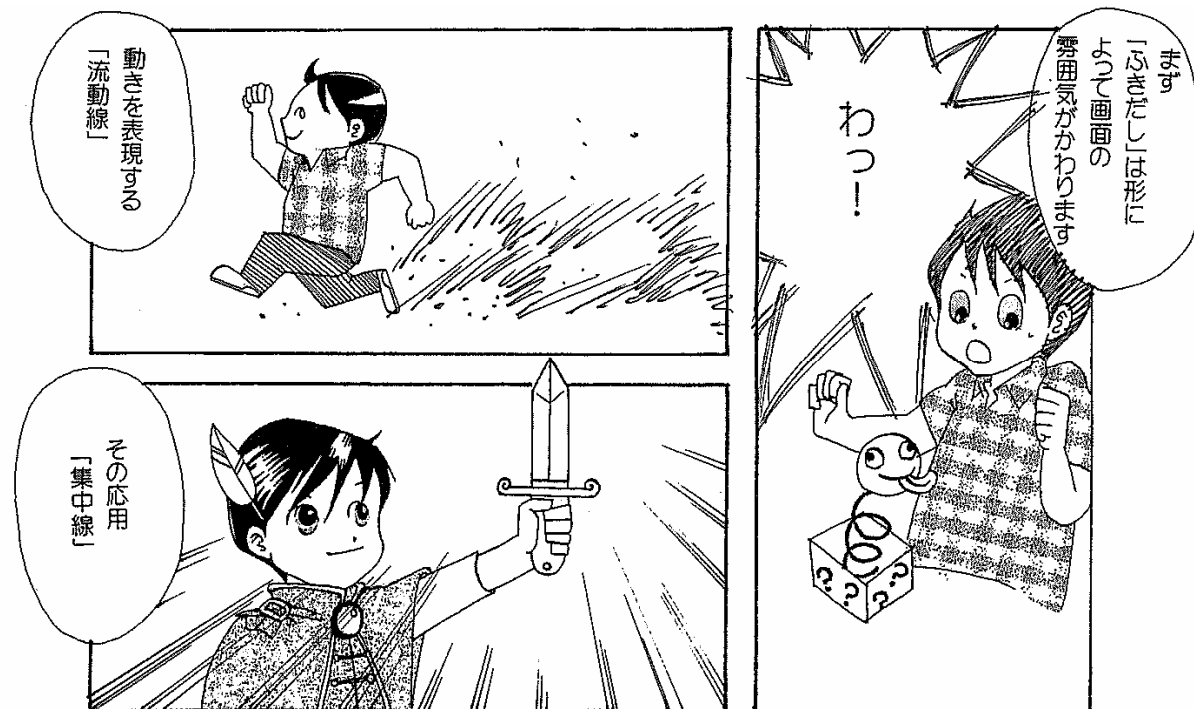
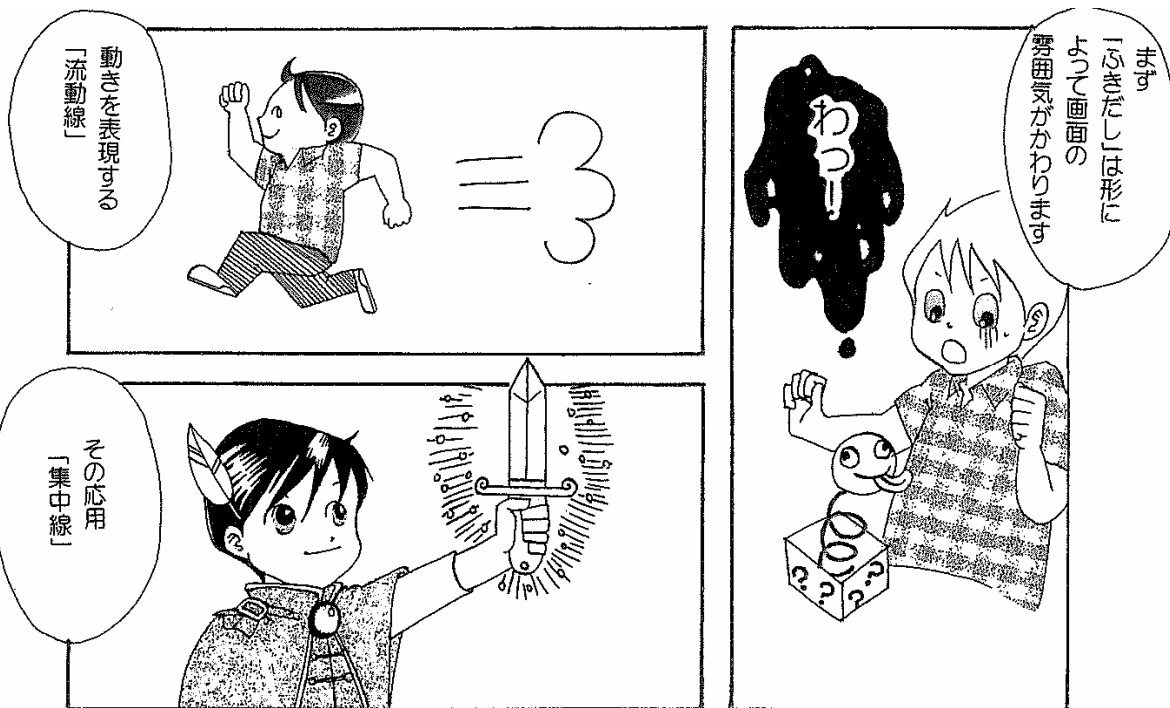
※京都国際マンガミュージアムの許可無く転載・引用禁止

講座で使用する 説明画

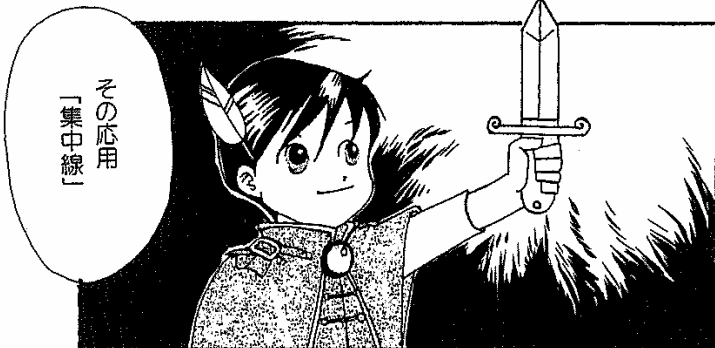
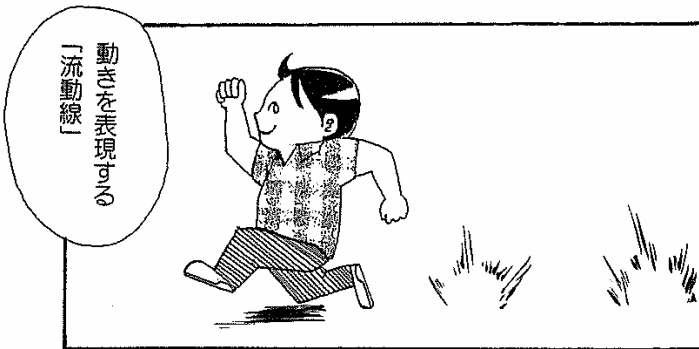
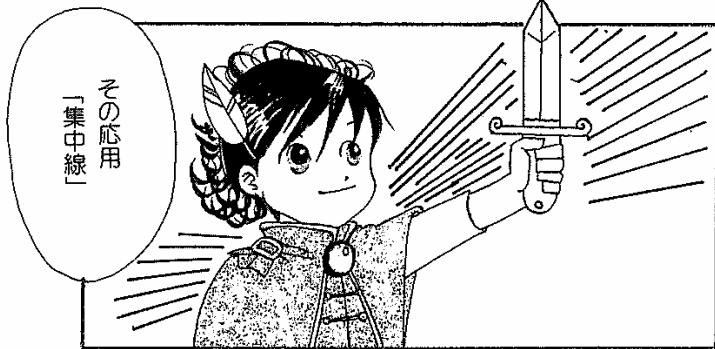
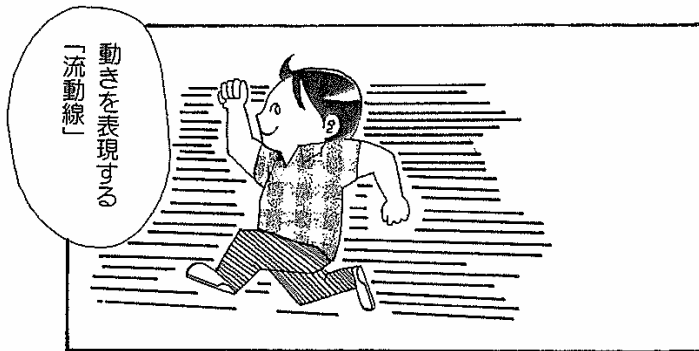
(線一本で、さまざまな心情を表現できる)



※京都国際マンガミュージアムの許可無く転載・引用禁止



※京都国際マンガミュージアムの許可無く転載・引用禁止



※京都国際マンガミュージアムの許可無く転載・引用禁止